

未来に責任を持つ政治公明党

大口よしのり通信(号外)

大口よしのりホームページ ▶ <http://www.oguchi.gr.jp/>

令和2年 夏季号



コロナ禍から国民生活を守る 公明党政務調査会長代理として尽力

**公明、『骨太方針』で首相に提言。感染防止と経済両立を。
行政・医療・教育・デジタル化集中投資 疾病予防の司令塔日本版CDC創設せよ**

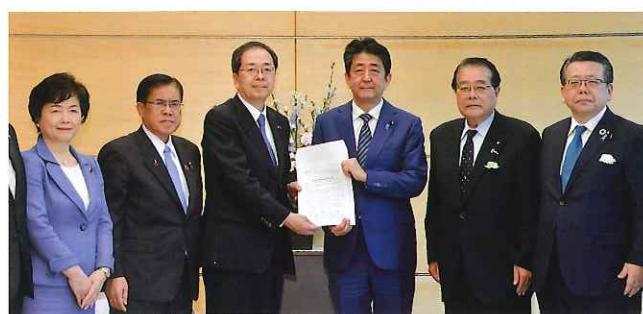
公明党山口代表の首相に対する乾坤一擲の要請が、既に閣議決定した
令和2年度補正予算案の異例の組み替えにより、**1人あたり一律10万円の給付**を実現！



▲首相に骨太に向けた提言 大口政調会長代理(右から2人目)ら=6月30日 首相官邸

〈提言の主な項目〉

- 治療薬・ワクチン開発と早期実用化
- 企業の事業継続支援と雇用の維持・確保
- 食料安全保障の強化などサプライチェーンの多元化支援
- 行政手続きの完全デジタル化
- オンライン診療・遠隔医療の推進
- 学びの保障のためのICT環境の整備
- 「ポスト5G」推進に向けた研究開発の促進
- 東京一極集中の是正に向け地方創生の推進
- 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援



▲首相に第1次補正予算に向けた提言=3月31日 首相官邸

〈提言の主な項目〉

- 収入が大幅に減少するなど深刻な影響が生じている人に1人当たり10万円給付
- 公共料金や社会保険料の支払い猶予と延滞金の減免
- 中小企業・小規模事業者への給付金制度を創設
- 雇用調整助成金の助成率を最大10分の9まで引き上げるなど制度拡充
- 文化芸術・スポーツのイベント自粛要請に伴い収入減となった団体・個人への支援
- サプライチェーンの毀損リスク分散のため、生産拠点を多元化
- オンライン診療の導入支援と保険適用



▲官房長官に第2次補正予算に向けた提言=5月22日 首相官邸

〈提言の主な項目〉

- 地方創生臨時交付金を3兆円規模で積み増し、うち1兆円を家賃支援に
- 持続化給付金を拡充し、フリーランスの多様な所得申告に対応
- 中堅・大企業の資金繰り支援で30兆円規模のメニュー確保
- 児童扶養手当を受給するひとり親家庭へ臨時特別給付金
- 学校再開へ1校当たり最大300万円交付
- 避難所の感染拡大防止対策を強化
- 医療・介護従事者に応援金などを支給
- 長期戦を見据えた備えとして予備費の思い切った積み増し

衆議院総務委員長として尽力

通常国会で成立した総務委員会関係の主な法律

- 特別定額給付金等差押禁止法（一律10万円の給付金と子育て世帯への給付金の差押えを禁止=大口善徳総務委員長提出）
- 改正地方税法（所有者不明土地への対応、未婚のひとり親への寡婦（夫）控除適用等）
- 改正地方税法（新型コロナの影響による減収事業者への税の徵収猶予等）
- 改正地方交付税法（地方自治体が行政サービスを提供できるよう財源を確保）
- 改正合併特例法（市町村合併が円滑に行われるよう現行法の期限を10年間延長）
- 改正電波法（電波の有効利用や電波妨害を防止するための措置等）
- 改正電気通信事業法（過疎地の電話サービス維持の措置、海外事業者への規制強化等）
- NHK令和2年度予算（収入7,204億円、支出7,354億円、赤字149億円）



▲衆議院本会議へ総務委員長として登壇=5月28日



▲法整備が実現し喜び合う関係者=6月10日
国会内

電話リレーサービス実現へ！

耳の不自由な人が電話を利用しやすくなる「電話リレーサービス」を制度化する聴覚障害者等電話利用円滑化法が6月5日成立しました。これは、スマートフォンなどのビデオ通話機能を使い、聴覚障がい者と健常者の会話を、オペレーターが手話や文字で通訳・仲介するサービスです。大口議員は総務委員長として法整備を推進してきました。

公明推進の主な新型コロナ関連施策

子育て・暮らし	全国全ての人に一律10万円の特別定額給付金	雇用	雇用調整助成金の日額上限を1万5,000円に引き上げ
	児童手当受給世帯に子1人当たり1万円給付		中小企業の労働者が直接申請できる休業支援金（月額上限33万円）を創設
学び	所得が低いひとり親世帯に5万円（第2子以降は3万円ずつ加算）の給付	事業継続	法人に最大200万円、個人事業主に同100万円の持続化給付金
	小学校休校などに伴う休業に対しフリーランスも含めて補償。金額の引き上げも		今年創業の企業や事業収入を雑所得とするフリーランスも持続化給付金の対象に
医療	緊急小口資金や総合支援資金の貸し付け上限引き上げ。返済免除など特例創設	その他	法人に最大600万円、個人事業主に同300万円の家賃支援給付金
	家賃相当額を支援する住居確保給付金の要件緩和		中小・小規模事業者の固定資産税など減免
住宅ローンの返済期間延長など柔軟に対応		その他	セーフティネット貸付・保証枠などの要件緩和
住宅ローン減税の適用期間を1年延長			政府系金融機関を通じた「劣後ローン」や出資など資本性資金の供給
社会保険料や所得税、光熱水費などの減免や支払い猶予		その他	政府系・民間金融機関での実質無利子・無担保融資
困窮学生に最大20万円の緊急給付金			文化芸術の活動継続へ、個人に最大20万円、団体には同2500万円の支援
授業料を減免する大学などを支援		その他	農林漁業者の経営継続に最大150万円支援する経営継続補助金
児童・生徒に1人1台の端末整備などでオンライン学習を支援			生活困窮者らを支援するNPO法人の活動に休眠預金を活用した助成制度
文科省ホームページに子ども向け推薦図書の紹介サイト			
医療	人工呼吸器、マスクなどの生産支援	その他	政府内に専門家会議の設置
	治療薬、ワクチンの開発支援		地方創生臨時交付金を3兆円に
	PCR検査の保険適用と自己負担分を全額公費補助。唾液検査も対象に		農水省の「花いっぱいプロジェクト」を支援
	オンライン診療を初診から保険適用		緊急包括支援交付金を増額。全額国庫負担に
	医療・介護・障がい福祉サービス従事者に5万～20万円の慰労金		地域公共交通の感染防止対策に補助金

特別定額給付金チーム座長として尽力 無戸籍者にも支給！

1人一律10万円の特別定額給付金を無戸籍者も給付の対象とするよう大口議員は、公明党特別定額給付金チーム座長として緊急要望書を高市総務相と森法務相に申し入れ、総務省と法務省が調整し無戸籍者にも支給されることになりました。また視覚障がい者やDV避難者、在留外国人、難民認定申請者らへも十分配慮するよう申し入れ実現しました。さらにスマートフォンによるオンライン申請対応機種が少ないと指摘し、51機種を追加させました。



▲高市総務相へ緊急要望書を手渡す
=4月23日 総務省

コロナ禍 オンライン会議で影響調査 県内の業界団体の皆様からヒアリング

公明党静岡県本部の大口善徳代表（衆議院議員）は、新型コロナウイルス感染拡大による影響について、オンライン会議で静岡県内の業界団体にヒアリングを行いました。これには党県本部の県議、市議も参加しました。

この中で静岡県介護支援専門員協会の村田雄二会長は6月1日、県内の介護支援専門員へのアンケートの結果を基に「介護サービスの利用者が減るとともに、施設入所者と家族が



面会できずにいる」といった実態を伝え、「オンラインで面会できる環境にしてほしい」などと要望しました。これに対し大口県代表は「感染症対策とともに、質の高い介護サービスを提供できる体制にしていきたい」と述べました。このほか、静岡県社会保険労務士会（5月25日）、静岡県司法書士政治連盟（5月26日）、静岡県医師会（5月28日）、静岡県介護福祉士会（6月1日）、静岡県老人福祉施設協議会（6月8日）にもヒアリングを行いました。



▲ビデオ通話で影響調査を実施=6月1日
衆議院第2議員会館

ネットワーク力で問題解決へ奮闘

グループLINEで情報共有 大学などの奨学金手続き 在籍校に行かず申請が可能に

党静岡県本部の大口善徳代表（衆院議員）は1月末、無料通信アプリ「LINE（ライン）」を使い、県内の公明党所属議員の「グループLINE」を作成し、全議員が同じ情報を同時に共有できる環境を整備しました。これにより新型コロナウイルス問題対策では、各議員が発信する現場の課題に対して国・県・市町で素早く対応。大口県代表も直接国の政策を返信し、困っている現場の問題解決に尽力して参りました。

その中で、東京の大学に在籍する学生から、奨学金の申請に大学に行かなければならないが、東京は新型コロナウイルスの感染拡大で怖くて行けない。大学に相談すると、日本学生支援機構が郵送での受付を許可しないので、「提出日に来なければ受け付けない」と言われ、提出期限が迫っているなか大変に困っているとの相談を、山本行男掛川市議を通じて受けた大口県代表は、文部科学省に柔軟な対応を要請したところ、同省から対応を促された機関は、郵送やメールによる申請書類の提出やIDなどの交付を認めるQ&A形式の案内を出しました。

これにより奨学金は、事前に申し込む「予約採用」のほか、入学後に申し込む「在学採用」、家計急変に対応する「緊急採用・応急採用」のいずれも、郵送やメールでの手続きが可能となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響調査で静岡県内各地へ!

新型コロナウイルス感染症の拡大に迅速に対応するため、影響が目立ち始めた2月から毎週末、静岡県本部の県議市議らと力を合わせ、現場の実態調査に力を入れ、党感染症対策本部の政府に対する提言に反映させてきました。



兄 国道1号 笹原山中バイパス（笹原地区）



▲国道1号 笹原山中バイパス(笹原地区)
開通式典で挨拶=2月22日三島市



▲国道473号 原田橋の開通記念式典
でテープカット=2月29日浜松市

大口よしのり 現在の役職

(衆議院) 衆議院総務委員長

(党内役職) 中央幹事、政務調査会長代理、社会保障制度調査会副会長、全世代型社会保障推進本部本部長代行、厚生労働部会長代理、行政改革推進本部本部長、デジタル社会推進本部本部長代理、法務部会顧問、司法制度改革委員会委員長、GoToキャンペーンチーム座長、特別定額給付金・生活支援チーム座長、不払い養育費問題対策プロジェクトチーム(P.T.)座長、成年後見制度促進P.T.座長、民事司法改革に関するP.T.座長、所有者不明土地問題等対策P.T.座長、難聴児・者支援推進P.T.座長、中国残留孤児支援に関するP.T.座長、ハイスピーチ問題対策P.T.座長など

発行:大口よしのり後援会

■国会事務所

東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第2議員会館308号
TEL03-3508-7017

■静岡事務所

静岡県静岡市葵区伝馬町23-6
TEL054-273-8739

大口よしのり
WEBサイト



f Facebook

